



活発な意見が出された「知事と語る会」

「知事と語る会」が開催される

4月16日、鹿屋市体育館で伊藤知事と県民の対話集会「知事と語る会」が開催され、約300人が参加しました。鹿屋市での知事との対話集会は87年5月、鎌田知事（故人）が旧輝北町で行った「地域おこし車座対話」以来20年ぶりの開催で、語る会には、伊藤知事のほか山下乡長、奥園東串良町長、柳下県議、吉永県議、鶴田県議が出席。山下乡長は「伊藤知事には、東

九州自動車道の起工式、リナシティかのやの竣工式、さんふらわあ利用促進ミツシヨンの陣頭指揮、本日の語る会と、3月末から何回となく鹿屋を含め大隅に足を運んで頂いている。これは、伊藤知事が大隅半島の振興に誠心誠意取り組んでいたに因りしている証である」とあいさつしました。

語る会では、県の農業政策、大隅半島の活性化策、海上自衛隊鹿屋航空基地の民間活用策、国道504号の整備時期、桜島架橋建設を県の重要施策になど、様々な質問・要望があり、伊藤知事と意見を交換しました。

また、伊藤知事は語る会にあわせて、鹿屋農業高等学校や吾平山上陵、柳谷自治公民館、輝北天球館などを視察しました。



伊藤知事に質問する参加者



質問に回答する伊藤知事

主	な		
質	疑	心	答

質) = 質問者
回) = 伊藤知事

質)

海上自衛隊鹿屋航空基地を民間併用できないか。

回)

人口26万人の大隅地域で、飛行場が成立するか検証を行えば、難しい結果が出るのでは。また、鹿屋は従来から、国防を担う重要な基地のひとつで、その意味での制約も大きいだろう。それよりも、満辺空港に1時間程で行けるように、東九州自動車道と国道504号の道路整備を図るのが優先である。

質)

国道504号の整備はいつ頃を目処にどのような整備を考えているか。

回)

個人的には国道504号を早く整備した方がよいと考えているが、国の直轄道路として東九州自動車道の整備が進み、今後も予算規模が伸びるならば、大隅地域からは直轄道路で空港にアクセスした方が速いのもかもしれない。そうすると生活道路としての504号の整備が変わってくる。今、504

質)

号の整備の目処を正確に回答できない理由は、2つの事業を見据えなければならぬからだ。

回)

投票で不公平がおきぬよう対応するとともに、多くの方々が投票できる仕組みを改めて検討したい。

質)

障害者自立支援の対策について国や県の独自対策があったら教えてほしい。

回)

障害者自立支援法も見直され、社会においてハンデキャップを背負いながら頑張っている方々に対して、社会全体としての支援する仕組みは今後も維持すべきと思う。県としても最大限努力したい。

意見交換会では、多くの活発な意見・要望が出されました。これらの意見・要望の詳しい内容などは、後日、県のホームページで公開予定です。



大隅広域公園を視察



輝北天球館を視察



柳谷町内会の土着菌を視察



吾平山上陵を視察



自然飼育されている黒豚を視察



鹿屋農業高等学校を視察